



戦国肥後国衆一揆顕彰会

会長 高島 努さん
(写真 左)



「戦国肥後国衆まつり、3年ぶりに開催！」

新型コロナウイルスの影響で昨年、一昨年と中止になった「戦国肥後国衆まつり」が3年ぶりに開催される予定です。天正15年（1587年）豊臣秀吉の検地に抵抗する肥後国衆一揆が起きると、田中城に立て籠もった和仁軍は豊臣軍と二ヶ月にわたり激しい戦いを繰り広げました。まつりでは甲冑を身につけ戦国武者に扮した人々が田中城の戦いを再現します。この国衆一揆の再現を中心となり行っているのが「戦国肥後国衆一揆顕彰会」です。

元々、和仁地区の人によって行われていた一揆の再現を、今後永く継続していけるよう5年前に顕彰会を発足させ、町内全体から人を募り取り組んでいるそうです。顕彰会会長の高島努さんも福岡出身ですが、妻の地元である和仁に住むようになり、20年以上国衆まつりに関わっているそうです。「過疎化や少子化などもあるが、まつりを通じて子どもたちがこの地域に愛着を持ち、『住みたい・帰りたい』と思えるようにしたい」と語っていただきました。

1月13日に行われた今年1回目の練習会では配役を確認したのち、台本に沿ってセリフを読み合わせ、全体の流れを確認されていました。本番までに練習会を10回ほど行い、当日を迎えるそうです。本番では公募による参加者も含めて総勢60名が迫力の戦いを

再現します。熊本出身の俳優・勝野洋氏も来場し、武者行列と国衆一揆の再現に出演する予定です。

3年ぶりとなる戦国肥後国衆まつり、ぜひお問い合わせのうえご来場ください。

第46回戦国肥後国衆まつり

日時

2月12日

場所

午前9時30分～

和水町多目的広場
(三加和総合支所裏)

協力隊活動記 Vol.59

こんにちは、地域おこし協力隊の水上です。今月の2月12日回戦国肥後国衆まつりが3年ぶりに開催される予定です。今月のなごみ日和では、まつりの武者行列、国衆一揆の再現を中心になって行う国衆一揆顕彰会の練習を取材させていただきました。臨場感あふれる寸劇、合戦の再現などを通じて和水町の歴史・文化に触れられる貴重な機会だと思います。私自身、今回初めてまつりを見られることが大変楽しみです。